

広報委員会を開催

郡山地方広域消防組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部では、4月28日（水）、消防本部講堂で広報委員会を開催しました。

各所属の代表者が広報委員として集い、本組合で発行する広報紙の掲載内容をはじめ、今後の広報戦略について話し合われました。

今回は一部テレビ会議方式を取り入れるとともに、ペーパーレス化推進のためタブレット端末を使用して行われました。

今後とも様々な情報を積極的に発信して、消防行政に対する理解の促進と火災予防や予防救急の更なる推進を図り、地域防災力の充実強化に取り組んでまいります。



消防協力者に感謝状を贈呈

銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和3年4月10日（土）、火災事案における消防協力者6名に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

当事案は、令和3年2月6日（土）市内の店舗併用住宅から出火、着衣着火した状態で脱出してきた負傷者を、目撃した夫婦と付近住民4名が協力して消火・救護活動を実施し、救急隊からドクターヘリへと引き継がれ一命を取り止めました。

なお、今回の贈呈に際しては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、ご自宅へ訪問させていただきます。



消防通信 望楼 ぼうろう

「第29回全国救急隊員シンポジウム」堺市で初開催

堺市消防局

1月28日・29日の2日間、「第29回全国救急隊員シンポジウム」を堺市消防局と一般財団法人救急振興財団との共同主催により開催しました（堺市初・大阪府内19年ぶり2回目）。

当初は、堺市内の2施設を使用した開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、出演者・聴講者ともに現地に集まらない「WEB開催方式」に変更し、基地局を堺市消防局(本部)内に設置しました。当日の同シンポジウム配信サイトへのアクセス数は、2日間で延べ197,212件（IPアドレス数：13,588件）と、全国から多くの救急隊員をはじめ、医療関係者等が聴講しました。



VR防災体験車 運用開始

和歌山市消防局

令和3年3月16日（火）、和歌山市内の住宅管理会社から寄贈いただいたVR防災体験車の運用を開始しました。VR防災体験車は、専用のVRゴーグルで見るバーチャルリアリティ映像と、VRチェアによる振動で、リアルな災害現場の臨場感を体験することができます。車両には、「火災」「地震」「津波」の3種類の映像を搭載し、体験されるグループごとにお好きな映像を選ぶことができます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】